

## 2. 地域創生学科

### 1 カリキュラムの概要

地域創生学科では、自らと社会の生活の質向上に貢献できる実践的能力の育成を目指して、基礎および研究に関わる「総合」のほか、専門科目区分「ライフサイエンス」を配置しています。ライフサイエンスに関わる専門的知識を応用的に活用する力を養う区分として「プロジェクトマネジメント」「データサイエンス」を配置し、生活科学の専門的知識と技術を統合し、地域社会に貢献できる実践力を養うため、次のようなカリキュラムを構成しています。

1年次は大学基盤科目の教養科目・外国語科目の他、学科の学びの基盤形成のための必修科目と専門科目を配置し、幅広い視野と多角的な視点の獲得を目指します。学科総合区分の科目「ウエルビーイングの基盤」では、ライフサイエンス・プロジェクトマネジメント・データサイエンスの各専門領域の入門となる内容を総合的に学びます。「現代の衣生活論」、「現代の食生活論」、「現代の住生活論」「ソーシャルワーク論」等の科目では、人間の生涯発達におけるライフサイエンスの内容について、「プロジェクトマネジメント入門」等の科目では他者と協同した学びの場の企画・運営について、「AI入門」等の科目では生活や社会におけるデータ・課題を読み取り、活用することができる内容について、学問の基盤形成のための基礎的な知識の習得を行います。2・3年次には、講義科目の他に1年次の講義で修得した専門的知識を実証し、さらに学びを深めることを目的とした実験・実習・演習科目を配置しています。ライフサイエンスでは「現代の生活経済」「衣造形実習」「調理実習」「住居計画」、プロジェクトマネジメントでは「プロジェクトマネジメントⅠ」「女性リーダーシップ論」、データサイエンスでは「生活とデータ」等の科目を配置し、創造・体験・連携を重視した科目を学んでいきます。3年次には、各専門科目区分における内容を総合的に捉え、多角的な視点から生活課題を解決する能力を培うことを目的とした科目として「被服学実験」「食物学実験」「住居デザイン演習Ⅰ・Ⅱ」「福祉政策論」「消費者教育論」「プロジェクトマネジメントⅡ」「ICT・データサイエンスの活用演習」「データサイエンス応用プロジェクト」等を配置して、学びを発展させる応用的な内容を学修します。さらに3年次には各専門領域を深める個人・少人数指導の演習として「専門演習」を配置し、4年次には4年間の学修・研究の集大成として卒業論文・卒業制作のどちらかを必修として学びます。これらは学科総合科目に配置されています。

1年次は、大学基盤科目と必修の学科専門科目を中心に満遍なく様々な知見を広げるように科目を履修する必要があります。多くの大学基盤科目を履修し総合的な知識を身につけ、専門性を養うための基礎を培ってください。2年次からは自分の関心に合わせて学科専門科目を履修していきましょう。2・3年次では演習科目が開始されるので、より専門分野を深く学ぶことができます。また演習科目では履修の条件として専門基礎科目を履修していることが求められる場合があるので、よく考えて履修計画を立てる必要があります。4年次の卒業研究・制作に向けて段階的な知識と技能の習得を目指しましょう。

1年間に履修登録できる単位数の上限は49単位です。4年生になると就職活動や卒業研究のため多くの単位取得が困難になる場合があります。1年生からの綿密な履修計画が必要になります。また資格取得に必要な科目は上限単位数に含まない場合があるので、該当する科目かどうかを確かめて履修

計画を立て、登録するようにしてください。2年次終了までに50単位以上取得していない場合は3年次に進級できないので注意してください。

1・2年次の履修に関する問題は、アカデミックアドバイザー等に相談し学生生活を不安なく進めてください。3年次には教員ごとに開講されるゼミ（3年後期「専門演習」、4年次「卒業研究演習」）に所属します。3年ゼミは担当教員の指導のもと各専門領域の応用的な課題に取り組み、4年次の卒業研究演習では各自が研究テーマを設定して4年間の学習の成果を卒業研究・制作へと結実させます。

また本学科では次項に示す免許状・資格が取得可能です。取得を希望する場合は、これらに必要な科目群が1年生から履修が始まるので、可能性を閉ざさないように熟慮した履修計画を立てるようにしてください。

## 2 地域創生学科で取得可能な免許状・資格一覧

- ・ 中学校教諭一種免許状（家庭）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（家庭）
- ・ 社会福祉主事任用資格
- ・ 社会調査士
- ・ PMCe（プロジェクトマネジメントコーディネーターエントリー資格）

### 3 履修モデル

#### (1) 地域創生学科を卒業するための必要単位

#### ◆地域創生学科履修モデル

地域創生学科1年生は下記モデルを参考に、履修科目を選択してください。また、教員免許や資格の取得を目指す学生は、各免許・資格の履修モデルも合わせて参照してください。

#### モデル1：卒業モデル（資格取得なし）

		1年	2年	3年	4年	必要単位数	
大学基盤教育科目		p.124を参照				18単位以上修得 ※必要単位の詳細はp.124を参照	
学科必修科目	学科必修科目	ウェルビーイングの基盤 必修2単位 プロジェクトマネジメント入門 必修2単位 現代衣生活論 必修2単位 現代食生活論 必修2単位 現代住生活論 必修2単位 ソーシャルワーク論 必修2単位 論理的思考とデザイン思考 必修2単位 データサイエンス入門 必修2単位 AI入門 必修2単位	家族関係論 必修2単位	専門演習 必修2単位 メディア総論 必修2単位	卒業研究演習 必修4単位 卒業研究 必修4単位	必修32単位修得	
		生活経営論 選択2単位 生活環境基礎 選択2単位 社会福祉論 選択2単位 対人コミュニケーションの技法 選択2単位 プロジェクトマネジメント基礎演習 選択2単位	女性リーダーシップ論 選択2単位 ワークライフキャリアデザイン 選択2単位	ユニバーサルデザイン 選択2単位			選択必修20単位以上、 選択24単位以上修得
		服飾文化史 選択2単位 衣造形実習 選択2単位 テキスタイル工芸実習 選択2単位	被服学実験 選択2単位				
		食物の科学 選択2単位 調理学実習 選択2単位	食生活と栄養 選択2単位 食物学実験 選択2単位	食生活と文化 選択2単位 食物学実験 選択2単位			
		住生活文化論 選択2単位 住居計画 選択2単位 北国の暮らしと居住環境 選択2単位	住居計画 選択2単位 北国の暮らしと居住環境 選択2単位	住居デザイン演習Ⅰ 選択2単位 住居デザイン演習Ⅱ 選択2単位			
		現代の生活経済 選択2単位	消費者教育論 選択2単位	家族と法律 選択2単位 男女共同参画社会と女性 選択2単位			
		子どもと社会 選択2単位	子ども家庭福祉 選択2単位 心と体の日常生活支援 選択1単位 高齢期とライフステージ 選択1単位 発達と心理 選択2単位	子どもの発達と保育 選択2単位			
		ソーシャルワーク演習 選択2単位 高齢者福祉論 選択2単位 暮らしと社会保障 選択2単位	福祉政策論 選択2単位 地域生活と福祉 選択2単位				
		ワークショップ入門 選択2単位 フシリリレーショングラフィック入門 選択2単位 地域資源活用法 選択2単位	ワークショップデザイン 選択2単位 プレゼンテーションの技法 選択1単位 映像表現の技法 選択2単位 インストラクショナルデザイン入門 選択2単位				
		北海道の地域と文化 選択2単位	地域社会調査法 選択2単位 インタビューの技法 選択2単位 スタートアップ基礎演習 選択2単位	マーケティングリサーチ 選択2単位 統計調査と地域創生 選択2単位 組織マネジメント論 選択2単位			
		プロジェクトマネジメントⅠ 選択4単位	プロジェクトマネジメントⅡ 選択4単位	プロジェクトマネジメントⅢ 選択2単位			
		ICT入門A 選択2単位	ICT入門B 選択2単位 生活とデータ 選択2単位				
		モバイルアプリケーション演習 選択2単位	ICT・データサイエンスの活用演習 選択2単位 データサイエンス応用プロジェクト 選択2単位				
		他学科専門科目					
教員免許に関する科目〔指導法に関する科目等〕					指定科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる		
他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）					合わせて12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる		
他大学等で修得した科目					12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる		
備考					合計124単位以上修得		

上記の他、下表のとおり他学科の科目なども指定された単位数まで卒業要件に含めることができる。

	卒業要件に含められる単位数（4年間の合計）	備考
他学科専門科目	他学科開講科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる。	食環境マネジメント学科、子ども教育学科専門科目の履修を希望する学生は教務課窓口へ申し出てください。
教職に関する科目（「指導法に関する科目等」）	指定科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる。	指定科目については、教育課程表（p.163）を参照してください。
他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）	合わせて12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる。	文学部の英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科専門科目の履修を希望する学生は窓口へ申し出てください。 協定校修得科目は、短期語学研修または協定校留学に参加した学生の研修先または留学先大学で修得した単位の一部を認定したものです。

(2) 地域創生学科の各免許・資格を取得するための必要単位

◆教員免許取得モデル（中一種〈家庭〉・高一種〈家庭〉）

教員免許取得を目指す学生は、希望する免許種・科目に応じて、  
下表に示された科目の単位を修得すること。

※ 中一家：中学校教諭一種免許（家庭）  
高一家：高等学校教諭一種免許（家庭）

モデル2：卒業＋教員免許取得

		1年	2年	3年	4年	必要単位数
大学基盤教育科目		p.124を参照				18単位以上修得 ※必要単位の詳細はp.124を参照
学科必修科目	ウエルビーイングの基盤 必修2単位 プロジェクトマネジメント入門 必修2単位 ◎現代衣生活論 必修2単位 ○現代食生活論 必修2単位 ◎現代住生活論 必修2単位 ソーシャルワーク論 必修2単位 論理的思考とデザイン思考 必修2単位 データサイエンス入門 必修2単位 AI入門 必修2単位	○家族関係論 必修2単位	専門演習 必修2単位 メディア総論 必修2単位	卒業研究演習 必修4単位 卒業演習 必修4単位		必修32単位修得
	◎生活経営論 選択2単位 生活環境基礎 選択2単位 ◎食物の科学 選択2単位 住生活文化論 選択2単位 子どもと社会 選択2単位 社会福祉論 選択2単位 若人コミュニケーションの技法 選択2単位 ワークショップ入門 選択2単位 ICT入門A 選択2単位 フシリテーショングラフィック入門 選択2単位	服飾文化史 選択2単位 ◎衣造形実習 選択2単位 ○テキスタイル工芸実習 選択2単位 ◎食生活と栄養 選択2単位 ◎調理学実習 選択2単位 ◎住居計画 選択2単位 北国の暮らしと居住環境 選択2単位 ○現代の生活経済 選択2単位 子ども家庭福祉 選択2単位 心と体の日常生活支援 選択2単位 高齢期とライフステージ 選択2単位 発達と心理 選択2単位 ソーシャルワーク演習 選択2単位 高齢者福祉論 選択2単位 暮らしと社会保障 選択2単位 ワークショップデザイン 選択2単位 プレゼンテーションの技法 選択2単位 ワークライフキャリアデザイン 選択2単位 スタートアップ基礎演習 選択2単位 生活とデータ 選択2単位 ICT入門B 選択2単位	ユニバーサルデザイン 選択2単位 ○被服学実験 選択2単位 食生活と文化 選択2単位 ○食物学実験 選択2単位 ○住居デザイン演習Ⅰ 選択2単位 ○住居デザイン演習Ⅱ 選択2単位 ○消費者教育論 選択2単位 ◎子どもの発達と保育 選択2単位 福祉政策論 選択2単位 地域生活と福祉 選択2単位 IT・データサイエンスの活用演習 選択2単位 データサイエンス応用プロジェクト 選択2単位 組織マネジメント論 選択2単位	男女共同参画社会と女性 選択2単位 家族と法律 選択2単位		選択必修20単位（指定された小 区分から2単位以上修得のこ と）、選択24単位以上修得
学科専門科目		他 履修モデル1の科目を参照のこと				
他学科専門科目						他学科開講科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
教員免許に関する科目「指導法に関する科目等」						指定科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）						合わせて12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他大学等で修得した科目						12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
備考						

◎免許必修科目 ○免許選択科目

合計124単位以上修得

モデル3：卒業＋社会調査士＋PMCe資格取得、あるいはどちらかの資格取得モデル

		1年	2年	3年	4年	必要単位数
大学基礎科目		◎統計学				18単位以上修得 ※必要単位の詳細はp.124を参照
履修の手引き ウェルビーイング学部	学科必修科目	○プロジェクトマネジメント入門 必修2単位 ウェルビーイングの基盤 必修2単位 現代衣生活論 必修2単位 現代食生活論 必修2単位 現代住生活論 必修2単位 ソーシャルワーク論 必修2単位 論理的思考とデザイン思考 必修2単位 データサイエンス入門入門 必修2単位 AI入門 必修2単位	◎家族関係論 必修2単位	◎専門演習 必修2単位 ◎メディア総論 必修2単位	◎卒業研究演習 必修4単位 ◎卒業研究 必修4単位	必修32単位修得
	学科専門科目	○プロジェクトマネジメント総論 選択2単位 生活経営論 選択2単位 北海道の地域と文化 選択2単位 社会福祉論 選択2単位 対人コミュニケーションの技法 選択2単位 ワークショップ入門 選択2単位 ICT入門A 選択2単位 地域資源活用法 選択2単位 ファシリテーショングラフィック入門 選択2単位	◎インタビュー調査の技法 選択2単位 ◎地域社会調査法 選択2単位 ☆プロジェクトマネジメントI 選択4単位 服飾文化史 選択2単位 食生活と栄養 選択2単位 北国の暮らしと居住環境 選択2単位 現代の生活経済 選択2単位 高齢期とライフステージ 選択1単位 ソーシャルワーク演習 選択2単位 高齢者福祉論 選択2単位 暮らしと社会保障 選択2単位 ワークショップデザイン 選択2単位 プレゼンテーションの技法 選択2単位 映像表現の技法 選択2単位 インストラクショナルデザイン入門 選択2単位 ワークライフキャリアデザイン 選択2単位 スタートアップ基礎演習 選択2単位 女性リーダーシップ論 選択2単位 ICT入門B 選択2単位 生活とデータ 選択4単位 モバイルアプリケーション演習 選択2単位	◎マーケティングリサーチ 選択2単位 ◎統計調査と地域創生 選択2単位 ○プロジェクトマネジメントII 選択4単位 ユニバーサルデザイン 選択2単位 食生活と文化 選択2単位 消費者教育論 選択2単位 福祉政策論 選択2単位 地域生活と福祉 選択2単位 組織マネジメント論 選択2単位 ICT・データサイエンスの活用演習 選択2単位 データサイエンス応用プロジェクト 選択2単位	◎男女共同参画社会と女性 選択2単位 ◎家族と法律 選択2単位 ◎プロジェクトマネジメントIII 選択4単位	必修32単位修得 選択必修20単位（指定された小区分から2単位以上修得のこと）、選択24単位以上修得
他 履修モデル1の科目を参照のこと						
他学科専門科目						他学科開講科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
教員免許に関する科目「指導法に関する科目等」						指定科目のうち、12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）						合わせて12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
他大学等で修得した科目						12単位まで自由選択科目として卒業要件に含める事ができる
備考						

◎社会調査士必修科目    ○PMCe必修科目    ☆両方必修科目